

アルファルファ栽培現地研修会を開催しました！

令和4年9月12日
(独)家畜改良センター岩手牧場

令和4年8月31日(水)、家畜改良センター岩手牧場においてアルファルファ栽培現地研修会を岩手県と共催で開催しました。

岩手県では、粗飼料の安定確保のため、飼料用とうもろこしとライ麦の二毛作、アルファルファの栽培等により、自給粗飼料を増産することとしています。この研修会では、アルファルファの需要は高いものの、そのほとんどを輸入に頼り、県内の栽培事例が少ないため、アルファルファ栽培の指導者を育成するために開催されました。

研修会には、主に県内の普及員13名にご参加いただき、当場の担当係長が中心となり(1)岩手牧場のアルファルファ栽培のスケジュール(2)アルファルファ栽培の注意点(3)サイレージ調製方法(4)飼料設計と乳牛への給与量について、説明をしました。

参加者からのアンケートでは、「アルファルファ栽培の基本的なことから一連の話が聞けて、大変参考になった」、「更新したばかりのアルファルファ草地の様子を見ることができて良かった」、「サイレージを実際に手に取り、発酵品質の評価ができて良かった」などの感想をいただきました。

今後の研修会についても、有益な情報を提供できるよう取り組んでいきたいと考えています。

【座学研修】



【現地研修】

